

廣田縫工株式会社

業種	製造業	事業所所在地	兵庫県西脇市	資本金	10,000千円
				従業員数	139名

	被承継者（左）		
	廣田 千代	98歳	※承継時
	承継者（右）		
	廣田 伸行	37歳	※承継時

事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	11月	その他の親族（孫）	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
当社は、兵庫県西脇市にてオーダーカーテンの縫製加工事業を営んでおり、工場は、県内3工場を置き、従業員139名です。社員の平均年齢は54歳と高いですが、高齢者雇用モデル企業として社会貢献もしております。オーダーカーテン、スタイルカーテン、ローマンシェード、ソフトロールスクリーン等の室内装飾品の縫製加工も行っております。		・既存商品・サービスの利益の拡大（売上原価や販管費の改善） 繁忙期にはサイズやデザインの違うカーテンが1工場当たり約1千枚以上も滞留する多品種小ロット、高品質、短納期対応を行っておりますが、昨今、商品に求められる生産管理、品質管理は日毎厳しくなる反面、労働集約型企業は少子高齢化の煽りを受け深刻であり、高生産性が急務な状況下でした。	

事業承継を実行するまで			
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備	
承継実行の	11年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
前社長が当時87歳と高齢と言うこともあり、徐々に事業継承を考えておられました。出来るだけ早期に交代をしてほしいと願われていたのですが、承継者である私は当時25歳と言う若輩者で、世の中の事はるか、社会の右も左もわかりませんでした。まずは経営の実践と勉強を、業界の経験を積む事を最優先課題とされました。	事業承継にあたり、明確なビジョンや経営理念の確立し、機が熟し社内外共に納得できる時期での交代と話し合い、そこに至るにはそれ相応の時間がかかる旨を説明しました。また祖父母が残してくれた縫製技術と近代的な手法を融合する計画も話し合いました。	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	お得意先様に都度訪問し、承継のご快諾並びに奨励を頂きました。また金融機関様にも事前に話し合いの上、ご了解とご支援を頂く運びになりました。社内的には弊社役員に、2年前程には承継の話をしており、当日まで時間をかけ調整を行いました。		海外から流入する大量生産価格訴求品が凱旋する環境下で、付加価値を高める商品開発には大きく頭を悩ませました。量で勝てなければ、高品質で高生産性でなければ太刀打ちできず、事業の変革には相応の設備投資もあり、実行には相当の覚悟が必要でした。

これに一番苦労した！

承継者である私の年齢が若いことから前社長が高齢になるまで経営に携わらなければならず、御得意先様や金融機関様との折衝や信用力、インテリア業界やカーテンの製造方法、流通制度の勉強、各種関係先様との交流、そして状況判断力を培うのは困難で非常に時間を費やしました。事業承継に至るまでの11年の間にはリーマンショックがあり、私たちを取り巻く環境は一変しました。当時は大きく受注量が減少し、創業以来最大の経営危機に直面しました。新たに起業する意気込みで、事業再編や売上の回復に奔走した時期でした。そして受注数量の増減に左右されにくい体質、根本的な製造方法を変革する手段・手法の模索に随分と時間を要しました。

事業承継について相談したこと		
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容	
公認会計士・監査法人	前社長が高齢のため、早急な企業活動の実態の把握と、経営内容に関する財務諸表の把握に大きな知恵を授けて戴きました。貸借対照表、損益計算書の解説、連月試算表、キャッシュフロー計算書等の作成、そこからくる疑問点も細かな分析と説明してもらいました。また、会社法や中小企業診断士の勉強も与えられ、事業にどの様に昇華していくかと考えました。そして株式の譲渡・集約に関しての法務や税制を踏まえた承継計画の立案等、多岐に渡り承継に至るまでの歳月を丁寧にサポートして頂きました。	
いつから相談？		
承継実行の		11年前
相談のきっかけ		
以前から取引やつきあいあり		

新たな取組の標題

IOT推進、高生産性縫製企業への変革

新たな取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
----------	--------------------

- 当社のカーテン縫製事業は、多品種少量生産による労働集約事業で、近年海外からの安価製品に押され業績の伸び悩みが懸念されている。
- そこで、海外製品に対する競争力を高めるために高品質なオーダーカーテン、オートクチュールカーテンを主力に育てる。そのため、縫製ラインの近代的手法による簡略化、多品種少量生産体制確立のためIOTを用いたリアルタイム工程間の分析による工場レイアウトの立案と商品構成率に適合した生産管理と人員位置、拠点間ネットワーク連携による工場内可視化総合センターの開設を行う。
- さらに、平成11年に開設した販売施工部門の倉庫を解体して荷受け場所に変更することで、運送便の路上駐車問題を解消した。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳		
当社は約25年に渡り、定年制の無い会社の構築に取り掛かって参りました。現在の従業員数139名のうち、全体の約43%が60歳以上となっております。長年培われた技術力の活用、人生100年時代を見据え、エイジフリー社会のため高齢者雇用にも力を入れています。	<table border="1"> <tr> <th>経費の主な使い道</th> </tr> <tr> <td> 設備費（ネットワーク配線工事、分電盤移設工事、エアコン・保管棚設置工事、生産現場再構築工事費） 廃業費（倉庫解体工事費） </td> </tr> </table>	経費の主な使い道	設備費（ネットワーク配線工事、分電盤移設工事、エアコン・保管棚設置工事、生産現場再構築工事費） 廃業費（倉庫解体工事費）
経費の主な使い道			
設備費（ネットワーク配線工事、分電盤移設工事、エアコン・保管棚設置工事、生産現場再構築工事費） 廃業費（倉庫解体工事費）			

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施

本補助金への応募にあたり、起業や事業承継に詳しい専門家の先生を派遣して頂く事になりました。新しい取り組みの大枠は構想していましたが、それをさらに掘り下げ、事業の実現性、具体的な労働生産性の数値化をディスカッションし、細部に渡る事業計画の落とし込みを行って、より明確な計画の全体像の立案を行いました。

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	製品競争力を高めるため、設備投資による生産性の向上、付加価値の高いオーダーカーテン受注へのシフト、独自商品開発による売り上げ増、収益改善などに取り組みます。将来においても付加価値経営を進めるため、技術と品質の向上、企画提案型下請け企業となるための商品開発に取り組みます。
労働生産性	117.7 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
私は80代後半に孫への事業承継を決意しました。この縫製業は主人と共に約70年前、戦後何も無い時期に事業を立ち上げました。苦労の中でも夫婦二人の笑顔もありました。主人から引き継ぎ今日まで営んで参りました。孫にその宿命を背負わず事に悩みはありましたが、創業者の思いと技術の灯を絶やしてはいけない、その思いで必死でした。98歳になりましたが、事業承継を期に責務を全うする事が出来ました。70・80代で承継をお考えの方、まだまだ遅くはないです。後継者を信じ大きな気持ちで見守って下さい。	どのように今後の事業のブラッシュアップを行うか、何度も自分自身と対峙し熟考しました。めくるめく時代の中で、創業者の意思を引き継ぎ、企業活動の継続を行う事は極めて困難な時代です。採択は、時代（次代）を引き継ぐ大きな決断の後押しをして戴きました。本制度は今後減少していく中小企業の事業存続と言う社会問題にフォーカスした極めて貴重な存在です。夢を叶える承継者をバックアップする制度として、今後も希望ある未来のために活用されます事を祈念しております。